

和泉市議会議員

山本秀明

市政

だより

第72号

令和6年8月

和泉市青葉台2丁目8-34
TEL/FAX 0725-57-0034
E-mail h.yamamoto329@icloud.com

【プロフィール】

昭和39年3月29日堺市生まれ60歳
青葉はつが野校区在住

主な経歴

昭和59年 近畿大学 中退
昭和60年 府議会議員杉本光伸 秘書(15年間)
平成12年 和泉市議会議員 36歳初当選(6期目)
平成20年 第55代和泉市議会 議長
平成20年 全国市議会議員会 副会長
平成26年 南池田中学校PTA 会長
平成28年 第62代和泉市議会 議長(2度目)

令和6年 現在

明政会(市議会最大会派) 代表
厚生文教常任委員会 委員長
自民党大阪府支部連合会 副幹事長
大阪府看護連盟地方議員の会 幹事長
和泉市少年野球協会 会長
ボーイスカウト和泉第2団 育成会長
和泉市軟式野球連盟 顧問



【都市デザイン部長】議員指摘の区域は、駅周辺でもあることから、沿線に限らず空白地も含めた範囲を、地域の意向を確認しながら、市街化編入を含め、土地の有効利用に向け検討を進める。

【山本】現在本市の定住促進施策では、定住者拡大につながっていない。居住地を選ぶ大きな要素として仕事場に近しいことがあり、労働者が多いテクノステージ等の和泉市で働く方々を絞り、本市に移住を促す

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。

【山本】「トリベル和泉」の開発も終盤を迎え、本市の人口も平成27年以降は、減少に転じている。未来を見据え、転入者増を図るには、新住民の受け皿となる住環境のよい街づくりが必要である。現在の取組を示されたい。



未来を見据えた和泉市のまちづくり
都市部の市街化区域編入促進等を提言

大阪府が進めている、万博への府内子供たちの学校単位での無料招待事業ですが、今メタンガスや、熱中症対策など子供たちの安全面を疑問視する報道がされ、学校現場でも参加の有無も含め困惑している状況です。

今回の質疑を通じて、明らかとなった。会場での安全面の不透明さ、交通費の保護者負担、パビリオン見学などの少なさ、滞在時間の短さなどを考えると、学校単位での強制参加よりも、希望者による選抜参加とし、参加の有無については学校毎でなく、市教育委員会が責任を持ち判断すべきと考えます。また、7月3日には自見はなこ万博担当大臣を訪ね、大阪で起こっている無料招待事業による学校現場の困惑の状況を伝え、万博協会と大阪府に適切な情報開示の改善を促してもらうよう要望してきます。

【山本】本事業は、昨年8月に大阪府の吉村知事が「学校単位で万博へ無料招待する」と発表し、その端を発し、今学校現場が混乱している状況だが、マスコミ発表の前には、市教育委員会には事前相談や、連絡があったのか。また無料招待についているが、バス代などは大阪府が負担するののか。

【教育指導課】大阪府からの事前連絡はなかった。バス代等の交通費は各家庭の受益者負担となる。

【山本】保護者負担のバス代の想定金額はいくらになるのか。また来場時期が暑い時期だと、熱中症が心配されるが、来場日は希望日にできるのか。パビリオン見学などは自由に見学できるのか。

【教育指導課】バス代は乗車人数45人の場合、4千円程度になる。来場希望は出しているが、大阪府で日程調整を行うとしている。行程は、割り当てられたパビリオン一ヶ所の見学、昼食、展示スライド見学で3〜4時間滞在するとのこと。

【山本】府のバス配車を見て、来場日が夏の暑い時期になる可能性が高く、熱中症対策は取られているのか。また会場のメタンガス問題も懸念されているが、下見はいつ頃行けるのか。

【教育指導課】熱中症対策の詳細は、現段階では示されていない。下見については、万博開幕前の実施は不明だが、4月の開幕後は可能とのこと。

【山本】現時点で決まっていないことが多いようだが、今後大阪府から詳しい内容が示される時期はいつ頃になるのか。また学校単位で参加しない場合でも、無理用チケットは個人に配布されるのか。



7月3日自見万博担当大臣に無料招待事業の問題点を伝える



7月3日自見万博担当大臣に無料招待事業の問題点を伝える

【山本】学校単位での万博参加は、基本学校判断だが、各校長先生も生徒の安全確保などの情報が乏しく、判断が難しいと思われる。大阪府からの詳しい内容が示された後は、生徒の安全性の問題など本市教育委員会でも分析、協議し、市として統一した方針を示すべき。

また、学校単位での全員参加でなく、希望者を募り実施するなどの方法も検討すべきである。

任期中の一般質問

市政の問題提起や、公約した政策実現のため議会で議論を行っています。市政だよりでは、質問の要約した内容を掲載していますが、一般質問の全容についてはQRコードを読み込むことでスマホより動画でご覧頂けるようになりました。今期の任期中に行った一般質問は下記のとおりです。また、3月議会では、会派を代表しての大綱質疑や、予算・決算委員会、常任委員会においても、多くの議論を行っていますので市議会ホームページよりご覧ください。

一般質問
令和6年6月議会

学校単位の万博無料招待事業の問題点を指摘

令和3年12月議会

1 公共施設マネジメントの進捗状況と和泉市産業振興プラザの今後のあり方

令和4年9月議会

1 和泉創発プランの改訂について
2 水道事業の広域企業団への統合について
3 教育行政
・ 水泳授業充実の方針について
・ 学力向上のための塾代助成について

令和4年12月議会

1 はつが野地区の行政施設の整備について
① 学校施設 ② 保育施設 ③ 老人集会所
2 教育行政
① 水泳事業の改革方針について
② 学力向上に向けた塾代助成

令和5年6月議会

1 競争原理が低下している市の入札について

令和5年9月議会

1 中部地域(はつが野地区)の保育・保育園への対策について
2 サン・パールの在り方について

令和5年12月議会

1 市役所窓口のDX化(デジタル・トランスフォーメーション)について
2 工事請負契約におけるスライド条項制度について

令和6年6月議会

1 未来を見据えた和泉市の街づくりについて
2 学校単位の万博無料招待事業について



公約した政策を 次々と実現

政治に求められるものは結果と成果



山本秀明の市政改革 取り組みの実績と成果

政治に求められるものは、パフォーマンスではなく、成果と実績です。私の任期4年間の公約と成果をまとめました。今後も未来を見据えた、政策提言と、実現に向けての行動を、愚直に真摯に続けてまいります。

病院改革を実現

市立病院の経営民営化を提言し、長年の議会質問と議論を重ねた結果、市立病院の経営民営化を実現。平成30年には「和泉市総合医療センター」として建て替えを実現。休止していた救急についても365日24時間の救急受け入れを実現。また、市立病院の経営民営化により、市財政は毎年約12億円のコスト削減を達成。また現在は、医療体制の強化と、患者サービスの向上のため、増築工事が進められていますが、建設費約40億円の市負担はなく、全額指定管理者(徳洲会)が負担する事となっています。

市営住宅の削減を実現

人口割で市営住宅の管理戸数が府下2番目に多いことから、民間住宅を活用した補助制度への移行と、市営住宅の所有個数削減を提言し、議会質問と、市との協議を重ねた結果。現在2,210戸ある市営住宅を1,189戸に約45%削減する方針を実現。これにより、建築費だけで約95億円の削減効果が見込まれています。現在、富秋中学校校区のまちづくりの中で、集約建て替えが進められますが、削減した市営住宅跡地の開発により、固定資産税の収収や、土地の売却益が市の財源となります。

人事給与と改革を実現

市役所組織の活性化のため、年功序列から、能力実績を重視した人事給与制度を構築するため、人事給与と改革を公約し、市に対し提言と長年議論を重ねてきた結果、本年度より、年功だけでは昇給しない給与表の改正なども盛り込んだ、能力実績を重視した「和泉市人事給与改革」が本格実施されました。これにより頑張る職員のモチベーション向上と役所組織の活性が期待できます。

小中学校体育館の空調整備を実現

災害時の避難所機能も有する、小中学校体育館の空調整備を国の補助制度(緊急防災減災対策債70%交付税措置)を活用し整備すべきと、公約に掲げ、議会質問、会派要望を重ね市と協議してきた結果、令和7年度までに全ての学校体育館の空調整備を行うことを実現。本令和6年度では小学校11校と、中学校1校の整備工事を実施、残る小学校5校、中学校6校、南松尾はつが野学園は令和7年度に整備工事が行われます。

北部総合スポーツセンター基本構想策定を実現

Sゾーン計画の計画変更に伴い、凍結されてきたスポーツ施設整備計画を復活推進することを公約に掲げ、懸案であった設置場所や、財源についての議論を議会で行い、市と協議してきた結果、旧泉北水道施設組合跡地に、野球場などのスポーツ施設を整備する「(仮称)北部総合スポーツセンター基本構想」を令和6年に策定する事を実現しました。

認可外保育施設利用者への保育料補助を実現

令和5年9月議会一般質問で、保育所への入所資格がありながら入所できない保育児童が、令和5年4月時点で305名いることを指摘し、仕方なく高額な認可外保育施設に通う保護者に対し、公平性の観点から利用料の補助制度を創設すべきと提言し、協議を重ねた結果、令和6年度より保育料の2分の1(上限 月額2万円)を補助する認可外保育施設利用者負担軽減補助制度を実現。府内の自治体では初の取り組みです。

保育士確保に向け保育士就職支援補助金の拡充を実現

令和5年9月議会一般質問で、希望園に入所できない保育児童が増えた原因として、保育士不足により定員割れの保育園が多くなったとの市の分析に対し、現在の保育士確保の補助制度の内容が悪く、成果を上げていないことを指摘し、制度内容の拡充を提言したことにより、本年度からは保育士就職支援補助金の補助対象者の拡大や、補助期間の延長など、補助制度の拡充を実現しました。

はつが野4.5.6丁目の老人集会所整備を実現

令和4年12月議会一般質問、令和5年大綱質疑で、街開きも終え、住民の入居が進んでいるはつが野4・5・6丁目のコミュニティの場となる、市立老人集会所の早期設置について議論し要請してきた結果、はつが野4.5.6丁目の老人集会所整備を実現。本年度に設計予算が計上され、令和7年度には完成に向けた建設工事が行われます。

「書かない窓口」

デジタルトランスフォーメーション推進事業を実現

令和5年12月議会一般質問で、市役所のDX(デジタルトランスフォーメーション)化の重要性と、国の補助事業である「書かないワンストップ窓口」を導入するよう提言し、議論を重ねた結果、本年度、「書かない窓口」システムの導入と、事務作業のフルデジタル化に向けた制度設計をするための予算が計上され、令和7年1月には市民が申請書に記載することなく申請書類を取得できる、「書かないワンストップ窓口」が市役所に設置されます。

松尾山農道の市道化事業の実現

銅谷トンネルの開通により、外環状線から光明池春木線への交通量が増大したことから、松尾山農道を市道化することにより、幹線道路として整備していくべきと、議会質問、会派要望を重ねた結果、本年度より松尾山農道の市道化に向けた予算が計上されました。尚、現道のままでは青葉台へ交通が流れ込むことから、光明池春木線へのアプローチ道路を整備するよう、強く要請し協議しています。

松尾寺公園整備事業費を拡充

整備が進まない松尾寺公園に対し、市民が魅力を感じる整備方針定めると共に、パークPFI等民間活力を導入し、整備スピードを上げるべきと、議会質問や協議を進めた結果、本年度予算で、前年比約6.6倍の予算が計上され、園路整備と併せて、東部エリアの基本計画策定等、松尾寺公園整備事業を拡充する事ができました。

【その他議会質問・議員活動により実現した主な事業】

● 中央消防署の整備

和泉中部地域の消防体制確立のため、議会質問を通じ中央消防署の早期整備を要請したことで、令和2年4月に完成。

● 和泉中央駅前ロータリーの改修

バスと一般車が混在していた、和泉中央駅前ロータリーの改良に向け、議会質問や会派要望を行ったことで、令和4年にロータリーの改修を実現。

● 医療費無料助成の18歳への引き上げ(R3年実施)

会派要望を重ね要請していた、子供医療費無償化の対象年齢18歳までの引き上げが、令和3年より実施

● 悪質滞納私債権回収の弁護士委託

● 高齢者おでかけ応援制度の実現